

▼ロートエキス散 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ロートエキス scopolia extract 【分類】 鎮痙・鎮痛剤

【単位】 ▼10%散

【常用量】 0.2～0.9g/日

【用法】 分2～3

【透析患者への投与方法】 通常用量と同じだが、便秘に注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 抗コリン作用により、胃液分泌及び胃腸管の運動亢進を抑制する。また軽度の局所麻酔作用を持ち疼痛を緩解する。

【主な副作用・毒性】 口渇、便秘、排尿障害、視覚障害、幻覚（老人に起こりやすくスルピリドで改善）など

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない

【更新日】 20150825

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。